

旧二小跡地の活用を考えるワークショップ報告

第3回ワークショップを開催しました！

鶴岡市では、旧二小跡地に第二学区コミュニティ防災センターを移転し、中央児童館との連携により「子どもから高齢者までが交流できる場」「地域で子どもを育てる場」が一つになった新しい拠点の整備構想を検討しています。

旧二小跡地が、より多くの方に利用され、魅力的な場所になるように、令和6年6月8日（土）に第3回目のワークショップを開催し、地域のみなさまと一緒に旧二小跡地の活用について考えました。

ワークショップの概要

- 開催日時 令和6年6月8日（土） 午前の部 10時～12時（15人参加）
午後の部 14時～16時（14人参加）

■当日の流れ

1. 計画案の説明と意見収集

8つの計画案の特徴や設計意図を説明し、参加者から各案の良い点や悪い点等を意見収集。

2. 案の絞り込み

各案への意見、評価された点や理由を参加者で共有。第4回に向けて計画案の絞り込みを検討。

3. まとめ

第3回の意見の総評、次回への流れ等について説明。

次回開催日

次回、第4回ワークショップは、令和6年7月30日（火）18:30～です。

1 計画案の説明と意見収集

テーブルごとに8つの計画案を配置し、参加者の皆さんから自由にテーブルを巡回してもらいました。



【計画案の例】



各テーブルでは、ファシリテーターが、各案の特徴や設計意図を説明しました。

参加者の皆さんからは、各案の良いと思った点を赤い付箋に、課題点や改善点を青い付箋に書き込み、図面に貼る作業を行いました。



←図面に貼りつけられた付箋の状況。
参加者の皆さんからたくさんの意見が出されました。

2 案の絞り込み

参加者の皆さんから、各計画案の中で1番良いと思った案と2番目に良いと思った案に投票してもらいました。

前半作業で各計画案に出された意見について、各テーブルのファシリテーターが紹介しました。

また、各案に投票した参加者からもなぜその案を選んだのか、評価理由を発表していただき、皆さんの意見を共有しました。



3 まとめ

最後に、早稲田大学から「コミセンを利用する時の状況によって評価が分かれている」「児童館との関係性を重視した案が評価されている」等の意見の総評をいただきました。

